

会議録

- 1 会議の名称 令和3年度第3回熊取町子ども読書活動推進連絡協議会
- 2 開催日時 令和4年2月7日（月） 16時～17時
- 3 開催場所 熊取町立熊取図書館2階ホール
- 4 議題 案件1. 熊取町第4次子ども読書活動推進計画に関するパブリックコメント及びアンケートについて
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0人

7 審議会等の概要

- 案件1 熊取町第4次子ども読書活動推進計画に関するパブリックコメント及びアンケートについて

【事務局からの説明】

- ・町立小学校5年生と中学2年生に読書や図書館に対する考え方を計画の中に反映するため、アンケートを実施した。
- ・アンケート結果から、本をあまり読まない子や図書館をあまり利用しない子どもに対しての方策とアンケート結果についての分析を計画に盛り込んだ。

【委員からの主な意見等】

- ・学校の一人一つずつのタブレットで、熊取図書館にある自分の希望する本を自分で予約できれば、使いこなすことも勉強ではないが、興味が湧くんじゃないか。
- ・小学校の時は毎週図書のあるので必ず本を借りるが、中学生になると1週間では読み切れないため、学校図書館を利用しない傾向ではないか。そこを解消するためにも学校図書館システムの導入や子どもと本をつなぐ役割を担う学校図書館司書の資質を上げていく研修に取り組んでいく必要がある。
- ・国の「第6次 学校図書館図書整備等5か年計画」の中に、学校図書館支援センターの設置及び活用ということまで教育委員会に求められているので、是非バックアップをお願いしたい。
- ・子どもが図書館の空間に身を置き、本が好きな大人と時間を共有することは大事。だからこそ、学校図書館司書が本を紹介してくれることは、同時に本を楽しむ文化を子

どもたちに伝えてもらっている。学校や家庭の中でも本が好きな子どもを育てるためにも、家庭支援であったり、環境作りを公共施設や学校、民間の施設も含め、一体となって本が好きな子どもを作っていくということが大事では。

- ・子どもたちは本を読んでもらうだけではなく、自分で調べるっていうこともできている。そのような機会が家庭で減っているのであれば、保護者に絵本やお話を通して子どもたちが成長していること伝え、家庭でも絵本にふれる機会を持てるように知らせていければと、日々活動している。
- ・SNSのように、簡単な単語で親ともやりとりをしている。そのような環境下にある子どもたちは、「本の文章は読めない、読む気にならない」となっている。そこで、中学校では、読んだ文章に関するクイズを出すなど、子どもたちのモチベーションをかき立てるような取組みをしている。そのためにも、教員が、読書以前の「文字や読む」ということについて、研修していく必要があるのではないか。
- ・子どもにとって初めての本をつなぐということが、4か月健診の中でブックスタートという取組みであるため、コロナ禍であっても継続してやっていく必要がある。
- ・文字を上手く掴み取れない子どもが置き去りにならないよう、また自分で読める力もつけるという両方の側面を教師や教育委員会は考えていく必要がある。
- ・アンケートの結果について、次の計画を立てる時には、もっと数字が良くなるような取組みをしていかなければいけない。

●各委員の了承を得て、「熊取町第4次子ども読書活動推進計画」案を確定。

●今後のスケジュール

3月9日開催の教育委員会定例会に議案提出し、承認をいただき、策定となる予定。

8	審議会の情報名称	名称	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会
		根拠法令等	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会設置要綱
		設置期間	平成21年4月13日～
		所掌事項	子ども読書活動推進計画に関すること
		委員数	13人
9	担当課	図書館	